

市民の **暮らし** と
安心安全 を守る

京都市消防指令センター



公明党京都市会議員団は10月31日に「京都市消防指令センター」を視察しました。当センターは、火災・救助・救急の119番通報の受付から、災害場所の特定、出動部隊の編成と出動指令、現場活動の支援を行うなど、消防活動の中枢を担う重要な施設です。

ため、速やかな情報収集と情報共有、救急病院の収容可能状況等の把握など、機能を強化するとともに、コロナ禍での救急活動における感染防止対策や、コロナ第8波とインフルエンザとの同時流行に備えた体制の構築等を実施しています。

これら最新のシステムと経験を活かし、市民の暮らしと安心安全を守っています。



「市民生活の向上」と「財政の健全化」へ責任持ち全力!!

～令和5年度予算要望を門川市長に提出～

公明党京都市会議員団は10月14日、門川市長に対し令和5年度予算編成に対する要望を行い、93項目を盛り込んだ要望書を提出しました。

議員団からは新型コロナウイルス感染症対策と物価高騰が市民生活に大きなダメージを与えていると強調。市民の命と暮らしを守るため、適切な予算措置を講じるよう求めました。また、京都市の財政危機については公債償還基金の枯渇の回避の見通しは立ったものの、実質は基金等を取り崩して、赤字予算を組んでいることに言及。

財政の健全化と市民生活を支える取組のバランスを取りながら、必要な人に必要な支援が届き、持続可能な市政運営が可能となるための予算編成を求めました。

門川市長からは公明党京都市会議員団の要望を重く受け止め、令和5年度の予算編成に活かしていきたいとの考えが示されました。



令和3年度京都市歳入歳出決算

<令和3年度一般会計決算>

歳入総額1兆519億円 - 歳出総額1兆589億円 - 繰越財源15億円 = △85億円
 △85億円 + 89億円(特別の財源対策) = 4億円

令和4年9月市会(9月21日～11月2日)において令和3年度京都市決算が議決されました。京都市では令和3年8月に行財政改革計画を策定して初めて迎える決算年度となります。

一般会計では税収入等の歳入増と地方交付税の増加や事業見直しなどにより、コロナ禍以前の水準にまで収支が改善。

しかしながら、特別の財源対策を行った上での4億円の黒字であり実質的な赤字となりました。令和4年度以降も着実な行財政改革を遂行する必要があります。市バス・地下鉄事業は多少の回復はあるもののコロナ禍による利用者減により、市バス△35億4100万円、地下鉄△35億5100万円の赤字。上下水道事業は節水型社会の定着による水需要の減少に加え依然続く新型コロナの影響により水道料金、下水道使用料収入が計画を大幅に下回りました。厳しい財政状況の中、市民生活を支える公営交通と上下水道を将来にわたり守り続けることが求められています。

公明党京都市会議員団としても、国・地方のネットワークを活かし、できる限りの支援を国に対しても要望しながら、持続可能な自治体運営となるよう鋭意取り組んでまいります。



市民生活の向上へ代表質問



京都市会本会議の代表質問で、公明党京都市会議員団は市民生活向上のため京都市政について質問と提言を行いました。

令和4年5月市会

国本 友利 議員(左京区)

- 地方創生臨時交付金の活用について
- 京都観光の回復に向けた取組について
- 障がい者の居住支援について

(ほか1問)

障がい者の居住支援について京都市では国に先駆けて、関連団体で構成する居住支援協議会を立ち上げ、高齢である事を理由に入居を拒まない京都市独自の「すこやか賃貸住宅」制度を運用しており、その枠組みを障がいのある方にも拡充するとの答弁がありました。

松田 けい子 議員(山科区)

- グリーフケアについて
- 子どものための文化芸術施策の推進について
- 誰もが遊べるインクルーシブな公園・遊具について

(ほか1問)

グリーフケアについては、遺族の心身に起こりうる変化や相談先等を掲載したリーフレットの作成が実現。文化芸術施策については、子ども向け専用サイトを設置し情報発信に取り組みとの答弁。インクルーシブな公園・遊具については、設置の在り方・整備の考え方の進化について検討し、着実に取組を進めるとの答弁がありました。

令和4年9月市会

湯浅 光彦 議員(右京区)

- 若者子育て世代の定住促進について
- 児童虐待対策について
- 不登校児童に対する支援について

(ほか2問)

国基準を上回る保育士加配・処遇改善、待機児童ゼロの継続、令和5年度保育料据え置き、医療費助成拡充の早期実現に向けた検討を開始するとの答弁。児童の心理支援の充実、一時保護所の居室の個室化、子どもの権利擁護の取組、SNSによる相談窓口を開設するとの答弁。ICTを活用した取組の充実とパトナ等と遠隔地の学校・家庭のオンラインカウンセリングの試行的実施を検討。また、適切な居場所を見つけるための支援を検討するとの答弁がありました。

青野 仁志 議員(中京区)

- スタートアップエコシステムの機能強化
- フレイル対策の市民への更なる普及
- データを活用したがん検診受診率向上

(ほか2問)

海外のスタートアップ誘致や国内のスタートアップへの出資拡大に繋がるようグローバル戦略をもって取り組むと答弁。コロナ禍でフレイルが進行。フレイル対策の市民周知やボランティア育成など、地域主体の取組としていくと答弁。医療・介護データを分析活用しがん検診受診率向上をはじめ健康づくりに活かしていくと答弁がありました。

かわしま 優子 議員(伏見区)

- 男性の孤独・孤立への支援
- 働きづらさを抱えた方への就労支援の充実
- 京都市版母子健康手帳の改訂について

(ほか2問)

望まない孤独・孤立にある男性が、複数の課題を抱えながら声を上げられず、課題が深刻化することがないよう、寄り添う仕組みを整え、地域とのつながりや活躍の場を作ることを提言。現在実施している相談窓口を男性がより利用しやすいよう、SNS等で発信するなど周知するとの答弁がありました。

公明党京都市会議員団の顔ぶれ

 <p>北区 ひょうどう 兵藤 しんいち 1期 文化環境委員会 TEL: 075-231-7407</p>	 <p>左京区 くにもと ともとし 国本 友利 3期 総務消防委員会 TEL: 080-9804-7802</p>	 <p>中京区 あおの hitoshi 青野 仁志 3期 まちづくり委員会 TEL: 090-8369-9953</p>	 <p>山科区 まつだ keiko 松田 けい子 1期 教育福祉委員会 TEL: 070-2266-9499</p>	 <p>南区 だいどう よしとも 大道 義知 8期 総務消防委員会 TEL: 075-921-3172</p>
 <p>右京区 ゆあさ みつひこ 湯浅 光彦 5期 教育福祉委員会 TEL: 075-873-2501</p>	 <p>西京区 ひらやま よしかず 平山 よしかず 4期 産業交通水道委員会 TEL: 075-393-8806</p>	 <p>伏見区 そが おさむ 曾我 修 5期 まちづくり委員会 TEL: 090-8934-4643</p>	 <p>伏見区 よしだ たかお 吉田 孝雄 4期 産業交通水道委員会 TEL: 080-9804-7801</p>	 <p>伏見区 ゆうこ かわしま 優子 2期 文化環境委員会 TEL: 080-9804-9844</p>

京都いつでもコール 市政情報総合案内コールセンター 午前8時～午後9時(年中無休)
市の手続きや制度、イベント、施設に関する問合せにお答えする窓口です。

● TEL: 075(661)3755 ● FAX: 075(661)5855

● 電子メール(以下のホームページから)

<https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>

右記の二次元コードから
携帯電話でアクセスでき
ます(一部機種除く)



みなさまの「ご意見」・「ご要望」などを
公明党京都市会議員団にお寄せください

● TEL: 075(222)3732

● FAX: 075(212)3608

● 電子メール: komei@lime.ocn.ne.jp

● ホームページ: [公明党京都市会](http://www.city.kyoto.lg.jp)